

アクションプラン 取組の進捗状況まとめ

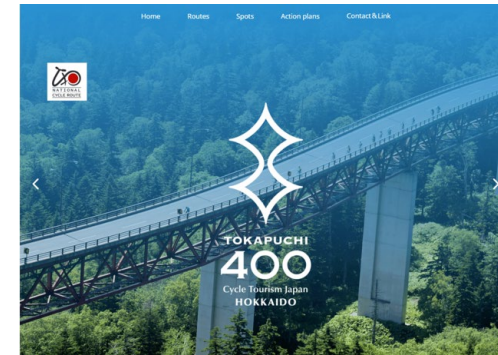
令和8年2月27日
北海道サイクルルート連携協議会アドバイザリー会議

1) 北海道のサイクルルートについて

【ルート協議会のサイクルルート】

10のルート

ナショナルサイクルルート
(NCR)



〔連携協議会〕

北海道商工会議所連合会、北海道観光機構、シーニックバイウェイ支援センター、北海道運輸局、北海道、北海道開発局により構成

〔ルート協議会〕

質の高いサイクルツーリズムを提供する団体。市町村、総合振興局・振興局、開発建設部、民間事業者団体(観光協会、商工会議所等)、自転車関連団体等により構成

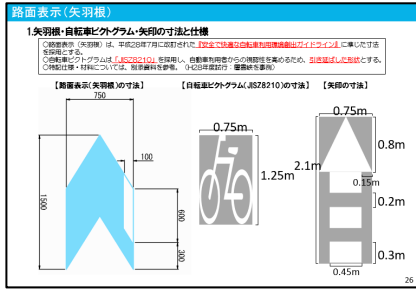
2) 走行環境の整備状況

走行環境に関する主な取り組み

案内看板・路面表示（矢羽根）仕様基準を運用した走行環境整備

基幹ルートのご案内サイン、路面表示矢羽根の標準仕様、地域ルートのご案内サインの標準仕様を作成し各ルートで運用し走行環境を整備。

▼標準仕様



北海道開発局HP(https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/splaat000000utuk.html)より抜粋

▼整備状況



矢羽根



案内看板(左: 基幹ルート・地域ルート重複区間、右: 地域ルート)



自転車走行環境改善のための路肩の拡幅

路肩の狭い国道において、路肩を拡幅し自転車が走りやすい環境を整備。

▼整備状況(きた北海道ルート)



整備前



整備後

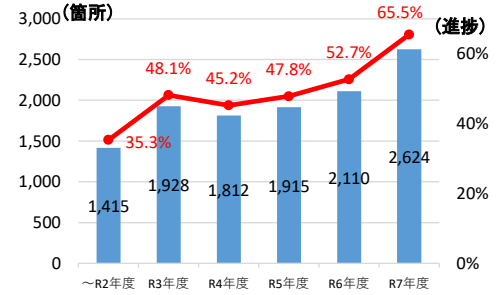
走行環境整備状況の進捗整理

各ルートの整備進捗状況をアクションプランにて管理。整備進捗率をとりまとめ、引き続き実施。

▼整備数(案内看板設置)



予告案内看板

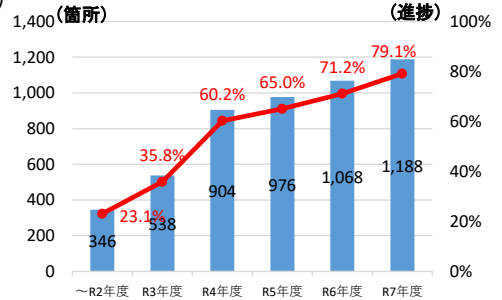


※R4年度は、トコプチ400における案内看板をシールから平板整備に見直したため減

▼整備数(路面表示(矢羽根)設置)



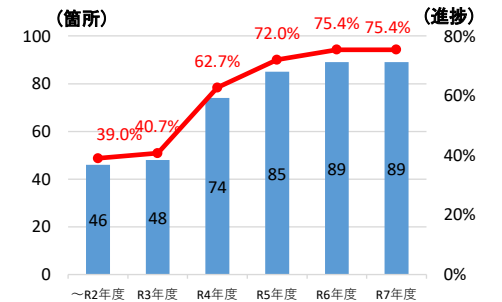
矢羽根



▼整備数(路面表示(注意喚起看板)設置)



急カーブ手前の路面表示



3) 受入環境の整備状況

受入環境に関する主な取り組み

ゲートウェイ機能の充実

基幹ルートへのゲートウェイとしての機能を向上。

▼ルートマップによる情報提供
(バスターミナルおびくる)



▼ルート案内による情報提供
(女満別空港)



休憩施設の拡充

基幹ルートへの延長あたりの休憩施設数を拡充。

▼サイクルラックの設置
(砂湯レストハウス)



▼休憩スペース・設備の有無
(峠の湯びほろ(シーニックデッキ))



宿泊施設の拡充

基幹ルートへの延長あたりの宿泊施設数を拡充。

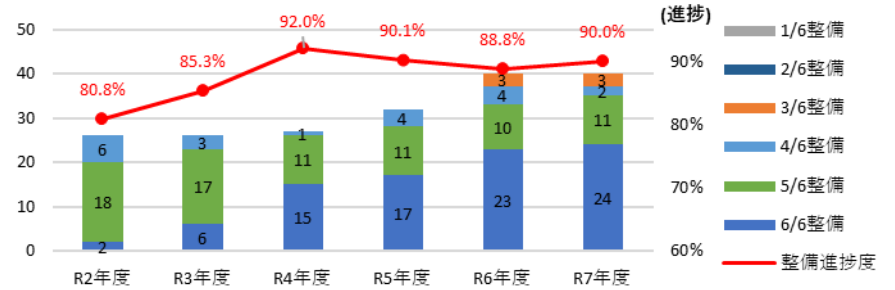
▼室内で自転車の預かり・保管
(てしお温泉夕映)



▼室内で自転車の預かり・保管、
洗濯機の設置 (HOTEL NUPKA Hanare)



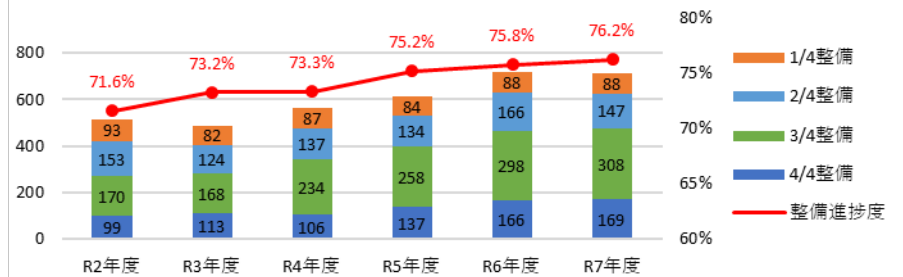
▼整備数(ゲートウェイ)



【ゲートウェイの整備項目】

- ・ルート案内等の情報提供
- ・必要な情報の提供
- ・サイクルラックの設置
- ・トイレの設置
- ・水分補給設備の整備
- ・休憩スペース設備の有無

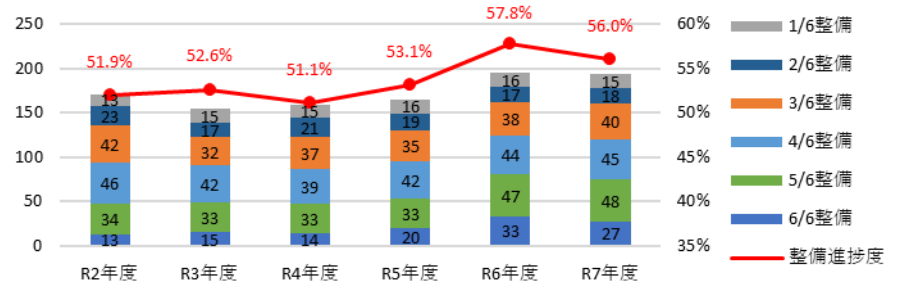
▼整備数(休憩施設)



【休憩施設の整備項目】

- ・サイクルラックの設置
- ・トイレの設置
- ・水分補給設備の整備
- ・休憩スペース設備の有無

▼整備数(宿泊施設)



【宿泊施設の整備項目】

- ・室内で自転車の預かり保管
- ・フロント等にて荷物の保管
- ・洗濯機の設置
- ・宅配の受け取り
- ・洗濯施設
- ・日帰り利用も可能なシャワー設備

4) 情報発信の整備状況

情報発信に関する主な取り組み

ルートマップの作成（日本語）

ルートマップを作成し、主要施設に配布。ルート周知を図る。

▼石狩川流域圏ルート



ルートマップの作成（多言語化）

ルートマップの多言語化により、インバウンド観光客への対応を充実。

▼トカプチ400



▼石狩北部・増毛サイクルルート



ルートのPR

基幹ルートのPRに向けたサイクリングイベント等の実施。

▼TSURUIサイクルスポーツフェスティバル（阿寒・摩周・釧路湿原ルート）



▼テッペンライド（きた北海道ルート）



情報発信整備状況の進捗整理

各ルートの整備進捗状況をアクションプランにて管理。整備進捗率をとりまとめ、引き続き実施。

